

見る力を育てる感覚学習ツール

# マジックアイFX

視線入力—視線を使ったパソコンの使用は、他の入力手段と同様一つのスキルです。視線入力装置を使ってスクリーンを「見る」ことによって、注意、因果、記憶を学び、読み書きや数の理解、メールやITを使ったコミュニケーションが出来るようになるには、個々の利用者を手助けする段階的に構成された体系的なトレーニングが必要です。

マジックアイFXは第一段階である感覚的学習と初期の視線のコントロールを練習できるソフトウェアです。

## マジックアイFXツールの2つの目的

四肢麻痺や発話が困難な子供達の見る力を育てる感覚学習ツール  
全ての子供たちの視機能や因果の理解のアセスメント・ツール

## マジックアイFXツールの特長と使い方

- ✓ Tobii Dynavoxの視線入力装置マイトビーI-16、PCEye 5、またはトビーPCEyeMiniで使用できます。(IS5ファームウェアが必要です。)
- ✓ マジックアイFXには40個のコンテンツが用意されています。また初期の視線スキルを発達させるための5つのレベルロジック(段階理論)を持っています。



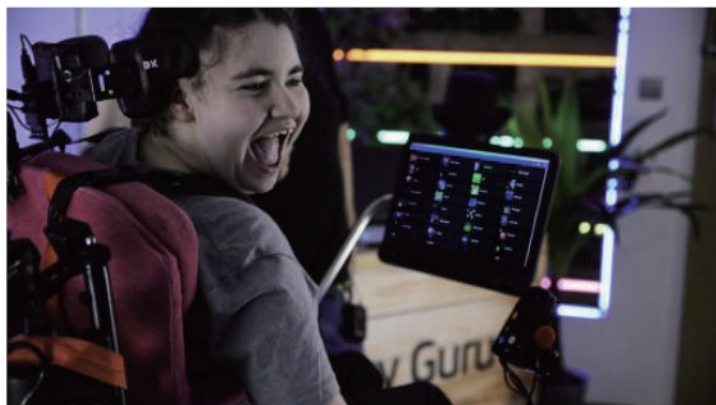
## 学べるスキル・評価に役立つ内容

スクリーンを見ること、固視、スキヤニング（視線の走査）、視野、音の優勢の有無、原因と結果、視覚的感受性の敏感さ/低さ、水平/垂直のスキヤニング、制御能力、有効視野、自発的な注視、ターゲティング、予想、視覚的処理時間、正確さ、視線による追従、短期記憶、戦略、追跡、色を学ぶ、認識、キャリブレーション、言葉の初歩……。

# マジックアイFXの5つのレベル理論

(レベルごとに8つのゲームを用意)

- レベル1** 画面に目を向ける。自分が画面に目を向けることによって刺激が生成されます。
- レベル2** オブジェクト(対象物)とのインタラクション。視線を向けるとオブジェクトが反応します。
- レベル3** 領域レベルでの正確さ。視覚的な注意の練習用にデザインされたインタラクティブなシーン。
- レベル4** アクティブな探索。探索や遊びを促すようにデザインされたゲームとシーン。
- レベル5** ねらいを定めてコントロールする。更に難しい視線のインタラクション。対象物のふるまいを目で制御します。



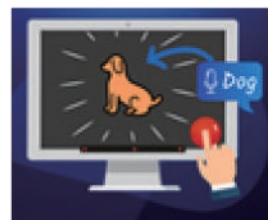
## センサリーアイFXとマジックアイFX

マジックアイFXは、長年にわたって特別支援学校、大学の教育学部やご家庭でお使いいただいてきたセンサリーアイFXの後継ソフトウェアです。

センサリーアイFXの大ファンである教育者、セラピストの先生方や親御さんからの貴重なフィードバックや要望をもとに、このたび使い勝手、編集、分析の機能が大幅にパワーアップしました。マジックアイFXには基本版とプロ版があります。

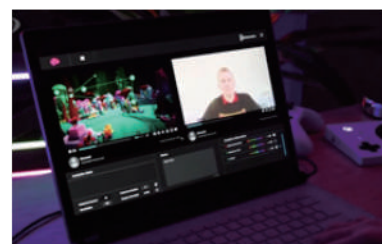
## ～マジックアイFXには従来にない以下の機能があります～

- **誰でも使える** 視線だけでなく、スイッチ、ゲームコントローラでも使え複数人で遊べます。
- **何でも使える** ゲームの背景に、静止画、ビデオ、ライブカメラ、YouTubeなど何でも使う事ができます。
- **簡単に使える** インタラクティブなアニメーション・オブジェクトを簡単に作れます。
- **声で呼べる** スクリーン上に声でオブジェクトを呼び出し表示できます。読上げによる理解を促せます。
- **外部から操作** iOSとAndroid端末から、学習者を妨げることなく遠隔でアプリ選択や設計ができます。



## ～マジックアイFXプロにはさらに以下の分析機能があります～

- **レコーディング** ユーザーのプロファイルに、レコーディングが可能、後で再生、分析できます。
- **データ分析** どんな順番で、どこを、どれだけの長さ見ていたか、ヒートマップとスクリーンスポットで可視化。
- **全てを記録** フロントカメラの画像、マイクとゲームの音もレコーディング、顔の表情や表出した音声も同時記録。
- **カスタマイズ分析** 学習者のインタラクションデータを異なる停留時間やクラスター定義で再分析。
- **複数入力分析** 視線だけでなく、スイッチ、ボイス、マウス、タッチ、ゲーム・コントローラの分析も可能。



総輸入販売元：株式会社クレアクト 福祉機器事業部

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-8-13 五反田増島ビル 4階

TEL：03-3442-5401 FAX：03-3442-5402 メール：info@creact.co.jp Web：www.creact.co.jp